

近藤治博士著作目録

著書・編著

- インドと中近東（世界の歴史19）、岩村忍・勝藤猛と共著、ムガル帝国の成立、ムガル帝国の終焉、イギリスのインド進出、セポイの反乱、インドとパキスタンの5章担当、河出書房新社 1969年11月
- インドの歴史—多様の統一世界（新書東洋史6）、講談社現代新書 1977年6月
- 新編東洋史辞典（京大東洋史辞典編纂会編、共編）、インド史関係項目担当、東京創元社 1980年3月
- 南アジア関係基本図書ウオント・リスト I インド古代・中世研究第2分冊インド中世史担当、国立国会図書館蔵書構成審議会蔵書構成の実態と評価に関する小委員会アジア・アフリカ分科会 1984年3月
- インド世界—その歴史と文化（編著）、世界思想社 1984年11月
- インドと中近東（河出文庫版世界の歴史19、共著）、河出書房新社 1990年3月
- 世界史年表（歴史学研究会編、共著）、南アジア史1200年—1700年ごろの関連事項担当、岩波書店 1994年3月
- パキスタン入門—文献案内（共著）、イスラーム期の歴史担当、日本・パキスタン協会 1994年4月
- インド史研究序説、世界思想社 1996年6月
- 南アジア史（アジアの歴史と文化10、編著）、同朋舎 1997年9月
- 現代南アジア史研究—インド・パキスタン関係の原形と展開、世界思想社 1998年6月
- ムガル朝インド史の研究（東洋史研究叢刊61）、京都大学学術出版会 2003年2月

東洋人のインド観、汲古書院 2006年10月

*The Early Modern Monarchism in Mughal India, With
A Bibliographical Survey*, Kyoto: Shoukadoh, 2012. 2012年 2 月

論 文

インド国民議会と民族ブルジョアジー 『新しい歴史学のために』
109 1965年11月

インド国民会議成立の歴史的背景 『東洋史研究』 24—3 1965年12月

パキスタン歴史学会の動向—その一端の紹介 『東洋史研究』 28—1
1969年 6 月

17世紀後半の北インドにおける農民収奪の一面—アウラングジーブ
帝の二勅令を手懸りにして 『史林』 52—5 1969年 9 月

英領パンジャープ土地制度史研究序説、京都大学大学院文学研究科
博士課程研究論文要旨 1970年 3 月

ムスリム・インド史研究と史料 『岩波講座世界歴史 月報』 25 1971年 5 月

パキスタン運動史上におけるラホール決議 『追手門学院大学文学
部紀要』 5 1971年12月

インド資本主義形成の特質 中村平治編 『インド現代史の展望』
青木書店 1972年11月

植民地前インドの社会構成（その1）—インド「中世」の構成体的
把握の試み 『歴史科学』 55 1974年 8 月

- 植民地前インドの社会構成（その2）—いわゆる資本主義萌芽論について 『歴史科学』 56 1974年10月
- ソ連におけるインド前近代史研究—時期区分問題との関連にふれて 『東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所通信』 24 1975年 8月
- 植民地前インドの社会構成について 『歴史評論』 309 1976年 1月
- 1975年の歴史学会—回顧と展望—インド2 『史学雑誌』 85—5 1976年 5月
- ガンディー・ジンナー会談の諸前提 『追手門学院大学創立10周年論集 文学部篇』 1976年10月
- インドの社会構成と変革課題（前） 『歴史評論』 320 1976年12月
- インドの社会構成と変革課題（後） 『歴史評論』 321 1977年 1月
- インド史上における18世紀の理解について 『追手門学院大学文学部紀要』 12 1978年12月
- 中世インドと東南アジア—地方政権の分立とイスラム勢力の拡大 『図説世界の歴史2 アジア国家の展開』 学習研究社 1979年10月
- ムガル帝国—近世の国家の繁栄と衰退 『図説世界の歴史5 民族主義の時代』 学習研究社 1979年10月
- インド封建制成立論をめぐる二、三の問題—田中収氏の問題提起を受けて 『歴史科学』 79 1979年11月
- ガンディー・ジンナー会談とその波紋 『追手門学院大学文学部紀要』 13 1979年12月
- 南アジア 国際歴史学会議日本国内委員会編 『日本における歴史学の発達と現状V』（第5章） 東京大学出版会 1980年 2月

- Some Theoretical Remarks on the Study of Capitalistic
Formation in India 『追手門学院大学文学部紀要』 14 1980年12月
- ムガル朝時代を中心とするインド国内交易路の変遷について
『追手門学院大学文学部紀要』 15 1981年12月
- ムガル朝時代のパンジャブ農村における宗教と政治権力 大山喬
平編『封建社会におけるイエ・ムラ・都市の比較史的研究』 京都
大学 1982年 3 月
- ムガル朝インドの商品流通 永原慶二・山崎利男他編『中世史講座
3 中世の都市』 学生社 1982年 8 月
- 唐・宋時代における中国とインド 今井宇三郎編『唐宋思想文化の
総合的研究—特にその形成と展開』 追手門学院大学 1983年 3 月
- ムガル朝インド交易史の研究 『三島海雲記念財団昭和57年度事業
報告書』 1983年12月
- インド中世史研究の現状—研究史的回顧(1) 『追手門学院大学文学
部紀要』 17 1983年12月
- 1983年の歴史学会—回顧と展望—インド 2 『史学雑誌』 93—5 1984年 5 月
- 再び植民地前インドの社会構成をめぐって—最近の論争から
『歴史科学』 97 1984年 6 月
- インド（中世） 島田虔次・萩原淳平・本田實信・岩見宏・谷川道
雄編『アジア歴史研究入門 5 南アジア・東南アジア・世界史と
アジア』 同朋舎 1984年12月
- インド中世史研究の現状—研究史的回顧(2) 『追手門学院大学文学
部紀要』 18 1984年12月

- Commence and Industry in Mughal India: With special reference
to Gujarat, *Acta Asiatica*, 48 1985年 3 月
- 「中世インド経済」論について 『南アジア研究会会報』 1 1985年 9 月
- Japan and the Indian Ocean at the Time of the Mughal Empire,
with Special Reference to Gujarat 『追手門学院大学文学部紀
要』 19 1985年12月
- 第16回国際歴史学会議参加記 大テーマ：インド洋 『歴史学研究』
555 1986年 6 月
- インド洋に関する二つの国際会議について 『東洋文化学科年報』
(追手門学院大学文学部) 1 1986年10月
- 近世後期のインド地誌(一) — 朝夷厚生と『仏国考証』について
『追手門大学文学部紀要』 20 1986年12月
- イスラーム期の歴史—パーキスタン文献案内14 『パーキスター
ン』 94 1987年 2 月
- 朝夷厚生『仏国考証』校注—近世後期のインド地誌(二) 『追手門
学院大学二十周年記念論集—文学部篇』 1987年 3 月
- アフマダバードの豪商シャーンティダースとムガル朝 『西南アジ
ア研究』 26 1987年 3 月
- Japan and the Indian Ocean at the Time of the Mughal Empire,
with Special Reference to Gujarat, in *The Indian Ocean:
Exploration in history, commerce and politics*, ed. by Satish
Chandra, New Delhi: Sage Publications 1987年 8 月
- イギリスのなかのインド 『東洋文化学科年報』 2 1987年11月

- アクバル箴言集(一) 『東洋文化学科年報』 3 1988年11月
 近世インドとイギリス 『歴史科学』 115 1989年 3 月
 アクバル箴言集(二) 『東洋文化学科年報』 5 1990年11月
 インド中世社会の成立とバラモン 『東洋文化学科年報』 6 1991年11月
 インド史の特質について 『東洋文化学科年報』 7 1992年11月
 イギリス人のインドへの旅ーオーヴィングトンのスーラト訪問と喫
 茶擁護論 追手門学院大学東洋文化研究会編『旅の文化史ー生き
 られたアジアの風景』 駸々堂 1993年 4 月
 インド・パキスタン紛争ーカシミール問題を中心に 岡村幸治・木
 村雅昭編『南アジア』(紛争地域現代史 3) 同文館 1994年 6 月
 ムガル朝時代のインド洋と日本 『追手門学院大学文学部紀要』 29
 1994年 6 月
 アクバル箴言集(三) 『東洋文化学科年報』 9 1994年11月
 インド・イスラーム文化の形成 堀川徹編『世界に広がるイスラ
 ム』(講座イスラーム世界 3) 栄光教育文化研究所 1995年 1 月
 イスラムとヒンドゥーの危うい関係 『GEO』 1995年 9 月号 1995年 9 月
 インドの文化と社会 『東洋文化学科年報』 10 1995年11月
 最近のインド・パキスタンの関係について 『阿頼耶順宏・伊原澤
 周両先生退休記念論集 アジアの歴史と文化』 汲古書院 1997年 4 月
 ヴァスコ・ダ・ガマのインド来航と香料貿易 歴史教育者協議会編
 『知っておきたいインド・南アジア』 青木書店 1997年10月
 ムガル帝国とインド 『知っておきたいインド・南アジア』 1997年10月

- インド国民会議の成立と運動 『知っておきたいインド・南アジア』
1997年10月
- インド・パキスタン問題の淵源と現在 『歴史学研究』 719 1999年 1 月
- インド史の特徴をどのように理解するか（佛教大学大学院東洋史学
特殊研究学習の手引） 佛教大学通信教育部 1999年 2 月
- アクバル時代のインド観について 『史学論集—佛教大学文学部史
学科創設30周年記念』 同論集刊行会 1999年 3 月
- Feudal Social Formation in Indian History, in *The Making of
History: Essays presented to Irfan Habib*, ed. by K.N.Panikkar,
Terence J.Byres, and Utsa Patnaik, New Delhi:Tulika,2000. 2000年 8 月
- 山村才助『印度志』校注—近世後期のインド地誌(三)
『鷹陵史学』 26 2000年 9 月
- アブル・ファズルの皇帝観について 『東洋史研究』 59—2 2000年 9 月
- 山村才助『印度志』校注（承前）—近世後期のインド地誌(四)
『鷹陵史学』 27 2001年 9 月
- ムガル朝時代の文書行政について 『西南アジア研究』 55 2001年 9 月
- アクバル箴言集(四) 『鷹陵史学』 28 2002年 9 月
- 20世紀初頭のインドと中国—章炳麟を中心にして 『鷹陵史学』 29
2003年 9 月
- 章炳麟のインド論について 『鷹陵史学』 30 2004年 9 月
- イギリス、フランスに所蔵される『アクバル会典』の写本について
『佛教大学文学部論集』 89 2005年 3 月

章炳麟の竜樹菩薩生滅年月考について 『鷹陵史学』 31 2005年 9 月

Religion and Culture in Mughal India, in *Papers from Aligarh Historians Society to the Indian History Congress, 66th Session*, ed. by Irfan Habib, Santiniketan, 2006. 2006年 1 月

Abu'l-Fazl's Conception of Kingship, in *Papers from Aligarh Historians Society to the Indian History Congress, 66th Session*, ed. by Irfan Habib, Santiniketan, 2006. 2006年 1 月

Concept of India at the Time of Akbar, Read at *The Akbar Fourth Centenary International Seminar, Reason and Tolerance in Indian History*, Held by the Indian Council of Historical Research, 28-30 October 2006, New Delhi. 2006年10月

Akbar and the Theologians' Declaration (Mahzar) of 1579, in *Religion in Indian History*, ed. by Irfan Habib, New Delhi: Tulika, 2007. 2007年 8 月

ムガル帝国の形成と発展 『世界史大系 南アジア史 2 —中世・近世』 山川出版社 2007年 8 月

イギリス、フランスに所蔵される『アクバル・ナーマ』の写本について 『佛教大学文学部論集』 92 2008年 3 月

『アクバル会典』に見えるインドの伝統的学術と仏教について 『佛教大学アジア宗教文化情報研究所研究紀要』 4 2008年 3 月

アーザードのアブル・ファズル伝について 『佛教大学宗教文化ミュージアム研究紀要』 5 2009年 3 月

シャイフ・ファリード・バッカリーのアブル・ファズル伝について 『西南アジア研究』 70 2009年 3 月

- ベイヤード・テイラーの見たファテプル・シークリーについて
『鷹陵史学』 35 2009年 9 月
- アーザードのアブル・ファズル伝について（承前） 『佛教大学宗教文化ミュージアム研究紀要』 6 2010年 3 月
- アーザードのアブル・ファズル伝について（三） 『佛教大学宗教文化ミュージアム研究紀要』 7 2011年 3 月
- アーザードのアブル・ファズル伝について（四） 『佛教大学宗教文化ミュージアム研究紀要』 8 2012年 3 月

書評・紹介

- 『インド社会経済史研究』（深沢宏著） 『東洋史研究』 32—2 1973年 9 月
- 『インド社会経済史研究』（深沢宏著） 『経済研究』（一橋大学経済研究所） 24—4 1973年10月
- 『インド史における村落共同体の研究』（辛島昇編） 『歴史学研究』 459 1978年 8 月
- 『講座史的唯物論と現代 3 世界史認識』（永原慶二・坂東宏編）
『歴史評論』 352 1979年 8 月
- 『ローカーヤタ 古代インド唯物論』（D.チャットーパーディヤーヤ著、佐藤任訳） 『歴史学研究』 483 1980年 8 月
- 『現代インド政治史研究』（中村平治著） 『歴史学研究』 525 1984年 2 月
- An Atlas of the Mughal Empire*, by Irfan Habib. 『史林』 67—5 1984年 9 月

- South Indian History and Society: Studies from Inscriptions A.D.*
 850-1800, by Noboru Karashima. 『史林』 68—1 1985年 1 月
- 『ポルトガルとインド—中世グジャラートの商人と支配者』
 (M. N. ピアスン著、生田滋訳) 『東洋史研究』 44—2 1985年 9 月
- 「ムガル帝国の支配体制—マンサブダリー制」(中世史講座 4 所
 収論文、小名康之著) 『法制史研究』 36 1987年 3 月
- 『インドの中世社会』(小谷汪之著) 『歴史評論』 476 1989年12月
- Towards A New Formation: South Indian Society under*
Vijayanagar Rule, by Noboru Karashima. 『史林』 76—5 1993年 9 月
- The Medieval Deccan: Peasants, Social Systems and States,*
Sixteenth to Eighteenth Centuries, by Hiroshi Fukazawa.
 『南アジア研究』 5 1993年10月
- 『バーブル・ナーマの研究Ⅲ』(間野英二著) 『史林』 82—6 1999年11月

雑録・翻訳

- 国民会議の成立をめぐる—インド近代史研究ノート 『日印文化』
 (関西日印文化協会) 23 1964年 3 月
- インドにおけるイスラム王朝の成立 佐伯富・羽田明・山田信夫・
 布目潮風編 『大学ゼミナール東洋史』 法律文化社 1970年 6 月
- ムガル帝国の盛衰 『大学ゼミナール東洋史』 1970年 6 月
- セポイの反乱と英領インドの再編 『大学ゼミナール東洋史』 1970年 6 月
- インド・パキスタンの分離独立 『大学ゼミナール東洋史』 1970年 6 月

インドの社会構成と変革課題（歴史科学協議会大会報告要旨）

『歴史評論』 316

1976年 8 月

南アジア研究合宿について 『東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所通信』 31

1977年11月

ムガル朝のグジャラート地方支配について（東洋史研究会大会報告要旨） 『東洋史研究』 36—3

1977年12月

インド・パキスタンの分離独立（改稿） 『新訂大学ゼミナール東洋史』 法律文化社

1978年 6 月

デカン地方は「右」 『楽しかった思い出一下妻君を偲ぶ文集』 追手門学院大学

1980年 3 月

追手門学院大学名誉教授天野元之助博士訃 『追手門学院大学文学部紀要』 14

1980年12月

追手門学院大学—グジャラート大学交換留学生制度
『インド通信』 28

1981年 2 月

旧大阪砲兵工廠本館の破壊と建築文化財保存運動 『歴史評論』 381

1982年 1 月

吉野を詠んだラホールの詩人 『同朋』 71

1984年 5 月

『パーキスターン』 78（再録）

1984年 6 月

雑書軽んずることなかれ 『ぶっくわあむ』（追手門学院大学附属図書館報） 14

1984年11月

教不厳、師之情 『追手門学院大学二十年史』

1986年10月

西隣研究室の小畑龍雄先生 『東洋文化学科年報』 2

1987年11月

八木沼健夫先生の御退任に際して 『続蜘蛛の糸』（八木沼健夫教授 退職記念論文集）	1989年 3 月
温容の教育家清水剛先生 『清水剛教授退職記念誌』	1989年 3 月
金谷治・佐藤圭四郎両先生の御定年を迎えて 『東洋文化学科年報』 4	1989年11月
漱石再読 『同釜』（京都大学吉田寮同窓誌）創刊号	1990年 7 月
追手門学院大学と日印学生交換制度の20年 『日印学生交換制度二 十年誌』追手門学院大学	1991年 3 月
ムガル建築 『世界史のしおり』（帝国書院）57	1992年 6 月
岡崎精郎教授の急逝を悼む 『東洋文化学科年報』 8	1993年11月
私のインド史研究(一) —インド史への道 『東洋文化学科年報』 8	1993年11月
村主恵快教授との二十余年 『東洋文化学科年報』 9	1994年11月
私のインド史研究(二) —パキスタン留学時代 『東洋文化学科年報』 9	1994年11月
私のインド史研究(三) —インド資本主義形成論発表のころ 『東洋文化学科年報』 10	1995年11月
寡黙の先生 『東洋史研究』 54—4、宮崎市定博士追悼録所収	1996年 3 月
館蔵パーチャス『世界旅行記大成』『世界旅行記集成』について 『常照』（佛教大学図書館報）42	1997年 5 月
『世界旅行記大成』および『世界旅行記集成』5冊紹介 『佛教大 学図書館蔵貴重書図録』（新図書館開館記念）	1997年 5 月

- 『南洋航海探検史』5巻4冊紹介 『佛教大学図書館蔵貴重書図録』 1997年5月
- アブル・ファズルの言 『佛教大学学内報』280 1997年6月
- 恵谷文庫のペルシア語文献について 『常照』43 1998年3月
- アブル・ファズルの皇帝観について（東洋史研究会大会報告要旨）
『東洋史研究』58—3 1999年12月
- イギリス人の愉しみ方 『法輪』7 2000年3月
- 大英図書館の藤枝先生 『藤枝晃先生追悼文集』 2000年6月
- 梵学研究の先達—近づく慈雲尊者の200年遠忌 『京都新聞』朝刊
2001年1月24日
- 晩年の慈雲尊者 『法輪』8 2001年3月
- 緊張続く印パ関係 『京都新聞』朝刊 2002年6月21日
- アブル・ファズル自序を読む（東洋史研究会大会報告要旨）
『東洋史研究』62—3 2003年12月
- イスラム教における融和主義的人物像の研究 『アジア宗教文化情報研究所報』創刊号 2004年3月
- アブル・ファズルの書の写本と刊本 『アジア宗教文化情報研究所報』3 2005年3月
- 不動の大地が動く 『佛教大学大学院紀要』33 2005年3月
- 学会報告—国際セミナー「インドにおける理性と寛容」 『佛教大学文学部論集』91 2007年3月
- Introductory Note to Irfan Habib's "Colonialism, Modernization and the Asian Identity" 『佛教大学文学部論集』92 2008年3月

- アクバル時代の皇帝観 歴史学研究会編『世界史史料 2 南アジア・イスラーム世界・アフリカ』岩波書店 2009年 7 月
- シク教第 5 代教主アルジャンの処刑 『世界史史料 2』 2009年 7 月
- カンダハールをめぐるムガル朝とサファヴィー朝の抗争 『世界史史料 2』 2009年 7 月
- タージ・マハルの落成と運営 『世界史史料 2』 2009年 7 月
- アウラングゼーブの徴税政策 『世界史史料 2』 2009年 7 月
- アウラングゼーブによるジズヤ（人頭税）の徴収 『世界史史料 2』 2009年 7 月
- インド国民会議派の成立 1 歴史学研究会編『世界史史料 8 帝国主義と各地の抵抗 I』岩波書店 2009年10月
- インド国民会議派の成立 2 『世界史史料 8』 2009年10月
- G. コモローツィ著 古代メソポタミアにおける土地所有といわゆるアジア的生産様式論（翻訳）『歴史評論』348 1979年 4 月

辞典項目

- 『東洋史辞典』（京都大学文学部東洋史研究室編、改訂増補版）
 東京創元社 1967年 3 月
 インド共産党、インド州再編成、ティラク、ヒラーファト運動
- 『南アジアを知る事典』（辛島昇他監修）平凡社 1992年10月

サトナーミー、ティムール、ナーディル・シャー、ムハンマド・ビン・カーシム

『イスラーム世界事典』（片倉もところ編集代表） 明石書店 2002年3月
ムガル帝国、ムスリム連盟

『歴史学事典』12「王と国家」（黒田日出男責任編集） 弘文堂 2005年3月
アクバル帝、ダルバール、デリー、マンサブ

『歴史学事典』13「所有と生産」（川北稔責任編集） 弘文堂 2006年4月
アミール/マンサブダール、インド洋交易圏、ザミーンダーリー、
ザミーンダール、ジャーギール/イナーム、ライーヤト